

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 045-476-5003
2012年10月10日【第31号】

鶴見川を利用する方のモラルに関する要望が寄せられています

新横浜出張所には、『犬を散歩させている方がリードを外している。注意して欲しい。』『ラジコンをしている人に注意して欲しい。』『ゴルフをしている人がいる。注意して欲しい。』など多くの意見・要望が寄せられています。

皆さんから意見等を頂いた所には、看板等を建てモラル啓発を行っています。広範囲に渡るものについては、この新聞等を使って呼びかけて行きます。

鶴見川の堤防上で犬の散歩に関するマナー守っていますか

私たちが散歩させる時はルールを守ってね。



鶴見川の堤防で犬の散歩をしている皆さん『犬の散歩するときのマナー』を守っていますか？

川沿いの方や河川利用者の方から「犬のフンを片付ける看板を設置して欲しい。」「犬を放し飼いにして、散歩している人がいる。」などの意見・要望が増えています。犬の散歩をされる方は、次のことを守って欲しいと思っています。(横浜市のホームページから)

①お散歩はエチケットを守って！

お散歩は運動のためにするもの。トイレタイムではありません。なるべくトイレはおうちですませるように、しつけをしましょう。散歩中にトイレをしてしまった場合でも、**フンは必ず持ち帰り**、おうちで処理しましょう。また、ペットボトルに水を入れて持ち運ぶなどして、**おしっこをしたら流す**ようにしてください。

②リード（引き綱）をつけていますか。

おうちの敷地の外に出るときは、リード（引き綱）をつけていますか？横浜市動物の愛護及び管理に関する条例で、**犬は係留することが義務付けられています。**

お散歩のときなどは必ずリードを付けましょう。

リードを付けることで、犬が迷子になったり、思わぬ事故に遭うのを防ぐこともできます。

鶴見川を利用される方は、モラルを守り楽しみましょう

《鶴見川で守って欲しいマナー》

- ① ゴルフの打ちっぱなしは行わないこと
- ② 河川敷でのラジコン（遊水地の越流堤も含む）は行わないこと
- ③ 自転車は、スピードを出し過ぎないで、歩いている方の脇はゆっくりと走りましょう
- ④ 遅い時間の花火は、行わないこと
- ⑤ 許可された車両（車・バイク）以外は、河川敷に入らないこと
- ⑥ バーベキューを直火で行わないこと
- ⑦ ゴミは、持ち帰ること
など

多くの方が鶴見川を利用しています。ラジコンは危険です。
(鶴見川に8月ごろ墜落したラジコン)



鶴見川遊水地内の新横浜公園に『ドッグラン』が9月26日にオープンしました



新横浜公園内に市内最大級のドッグランが、9月26日（水）にオープンしました。

約3,000m²の敷地は、全面天然芝です。飼い主もワンちゃんも、みどり色のフィールドを存分に楽しむことができます。

開場は、水、木、土、日の週4日で、シーズン（レギュラー、サマー、ウインター）によって開場時間が変わるようです。

利用に当たっては、登録が必要となります。新横浜公園ドッグラン管理事務所へお問い合わせください。（電話045-476-2820）

鶴見川の距離標（キロ杭）を新しく変えました

河川には、河口からの距離を示すための距離標が設置されています。鶴見川本川は、200m間隔、矢上川と早淵川と鳥山川は、100m間隔で設置しています。

これまでの距離標は、主にコンクリート杭の形式で、設置から長い年月がたち、破損したものが多くありましたが、今回、鶴見川の定期測量に合わせて必要な箇所の交換を行うこととし、新たに金属の埋め込み形式のものを設置しました。（右側の写真）堤防上の川側の端に設置してありますので、散歩される時などに見つけてみて下さい。

また、距離標には、河口からの距離が書かれています。鶴見川についてお気づきの点を連絡頂く際には、距離標に書かれている位置を合わせて教えて頂けると、位置の特定がすぐに行えますのでどうぞご利用下さい。



あとがき

9月14日に市民団体の方から声がかかり、『かわさきFM』に出演する機会がありました。

その中で、鶴見川の洪水のこと、治水対策をどのように行っているのかハード面、ソフト面を含めて紹介させて頂きました。私も初めて知りましたが、このラジオ放送局は災害時に緊急放送を行うことを目的に作っています。日頃からこの放送局にも河川の情報を発信していく必要を感じました。参考に下記に紹介しておきます。（インターネットで放送を聞くことができます）

『かわさきFM』は、川崎市の呼びかけで市と民間法人が共同で作った株式会社（川崎市が55%を出資）で、いわゆる「第3セクター」と呼ばれているものです。

設立趣旨の大きな目的の一つは、川崎市内とその周辺に限った災害時に緊急放送を行うことと、その後の安否情報、ライフラインなどの生活情報を届けることです。

▽災害時には「かわさきFM」

『新横浜出張所だより』編集長（上林喜美夫）

鶴見川流域センターは防災情報を発信中です

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

9月は、防災をテーマに『防災ナビ』などのイベントが行われていました。

10月は、『生物多様性月間』ということで、生き物に関するイベントが行われています。トノサマバッタやコオロギなどの秋の生き物の展示も行っています。是非、ご来館ください。



【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）